

# 第3学年 社会科学学習指導案

日 時 平成30年10月24日(水)

対 象 第3学年3組 28名

授業者 N. R.

1 単元名 「働く人とわたしたちの暮らし」

2 小単元名 「店で働く人と仕事」(全17時間)

## 3 小単元の目標

- ・ 買い物調べやスーパーマーケットなどの販売店見学を通して、販売の仕事の様子、商品を通じた他地域とのつながりについて調べ、販売に携わる人々の工夫について考える。
- ・ 客の買い物の工夫と店の販売の工夫とのかかわりについて考え、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることを理解する。

## 4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会事象についての 知識・理解
① 地域の人々の生産や販売の仕事の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ② 地域の人々の生産や販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。	① 地域の人々の生産や販売の仕事の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ② 地域の人々の生産や販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。	① 観点に基づいて見学したり、資料を活用したりして、地域の人々の生産や販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ② 調べたことをグラフや白地図などにまとめている。	① 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 ② 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色や国内の他地域などとの関りを理解している。

## 5 単元について

### (1) 現行学習指導要領との関連

本単元は、現行学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり。

## (2) 教材について

本単元は、現行学習指導要領の内容（２）ア・イを受けて構成した。本校の地域では、中規模スーパーマーケットを主とする買い物の様子が見られる。また、用途に応じてコンビニエンスストアを利用する家庭も多くある様子である。本単元では、その２種類の店の消費者の願いに対する店の工夫を視点に学習を行う。

第一次では、自分の生活とスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの販売店との関わりがあることに気付けるように、家庭の買い物調べから学習への意欲を高めていく。

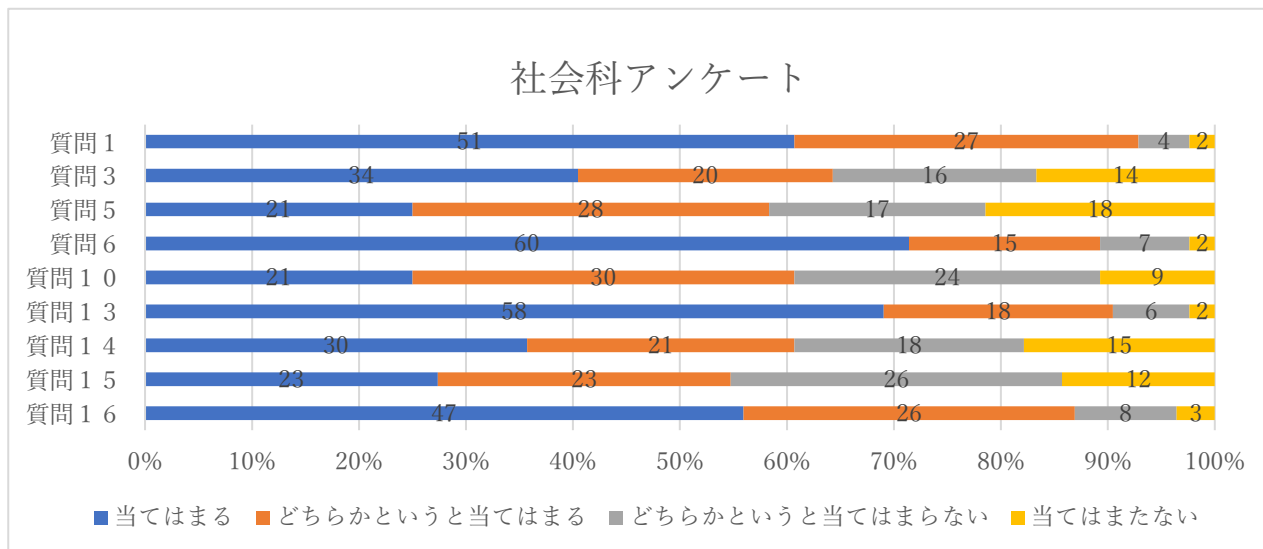
第二次では、実際にスーパーマーケットやコンビニエンスストアを調べることを通して、消費者がどのような願いをもって買い物をし、それに対して販売店はどのような工夫をしているのかを調べる。計画・見学・発表を通して、消費者と販売店の関係を考えられるようにする。

第三次では、今まで見えていなかった消費者の願いと販売店の工夫を理解できるようにする。売り上げを高めるための販売店の工夫は、消費者の願いを受け、商品の品質や価格などを考えていることを理解できるようにする。

これらの学習を通して、地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解できるようにする。

## (3) 児童の実態

- ・アンケート実施（対象 第3学年84名 実施日7月13日）



質問1「社会科の学習は楽しい」の問いに、93%の児童が肯定的な回答をしている。社会科を初めて学習する学年であるが、楽しく感じている児童が多い。しかし、質問3「自分の地域、都市、国、世界、歴史、政治などについて、なぜ、どうしても思うことがある」の問いに、36%の児童が否定的な回答をしている。住んでいる地域への知識の補充を必要と感じておらず、現在の生活経験や知識に充足意識があることが考えられる。

質問5「なぜ、どうしても思ったことを自分で調べるのが得意だ」、質問6「見学に行き調べることは好きだ」、質問13「友達と協力して学習することは好きだ」、質問14「自分の考えや調べたことを発表することは好きだ」から、見学に行き調べることは好きだが、写真やグラフから読み取ったり、調べたことをまとめたり、発表したりすることは好きではない、又は得意ではない児童が比較的多いことが分かる。

質問10「グラフや写真から分かったことをまとめるのは得意だ」、質問16「友達の発表を見たり聞いたりすることは好きだ」から、分かったことを自分なりにまとめたり、友達と協力したりする

ことが好きであったり、友達の発表を見たり、聞いたりすることが好きな児童が多い。

以上のことから、学習問題を明確にすることで、身近な地域に関心をもたせ、友達と協力しながら学習を進め、学習したことのまとめ方や発表の仕方の指導を工夫し、よりよい発表会を行うことが必要と考える。

## 6 研究主題に迫るための手立て

研究主題

### 2 1 世紀型の学力をはぐくむ学習指導法の研究 ～ I C T 機器の効果的な活用を通して～

目指す児童像

問題を見出し、具体的な資料を活用しながら、協働的に学習できる児童

#### (1) 教材・教具の工夫

児童の身近な地域への興味や関心を高めるために、買い物調べワークシートを活用する。自分の家で食べているものはどこで購入した物なのか、またどこで多く買っているのかなどを調べることで地域の生産と販売に目を向けさせていく。

実際に目で見たり、工夫に気付いたりするために、スーパーマーケット・コンビニエンスストアを見学する。地域の代表的な販売店を見学することで、身近な地域ではどんな工夫をしている店があり、スーパーマーケットとコンビニエンスストアではどんな違いがあるのかを実際に見られるようにする。

#### (2) 学習活動の工夫

児童同士の交流の場を多くし、考えをより深めるために、ペア・グループ・全体での話し合いをする。ペア・グループ・全体と学習に合わせて変化させていくことで、個では考えられない意見や新たな気付き、思考の整理、新たな課題の発見などができるようになる。

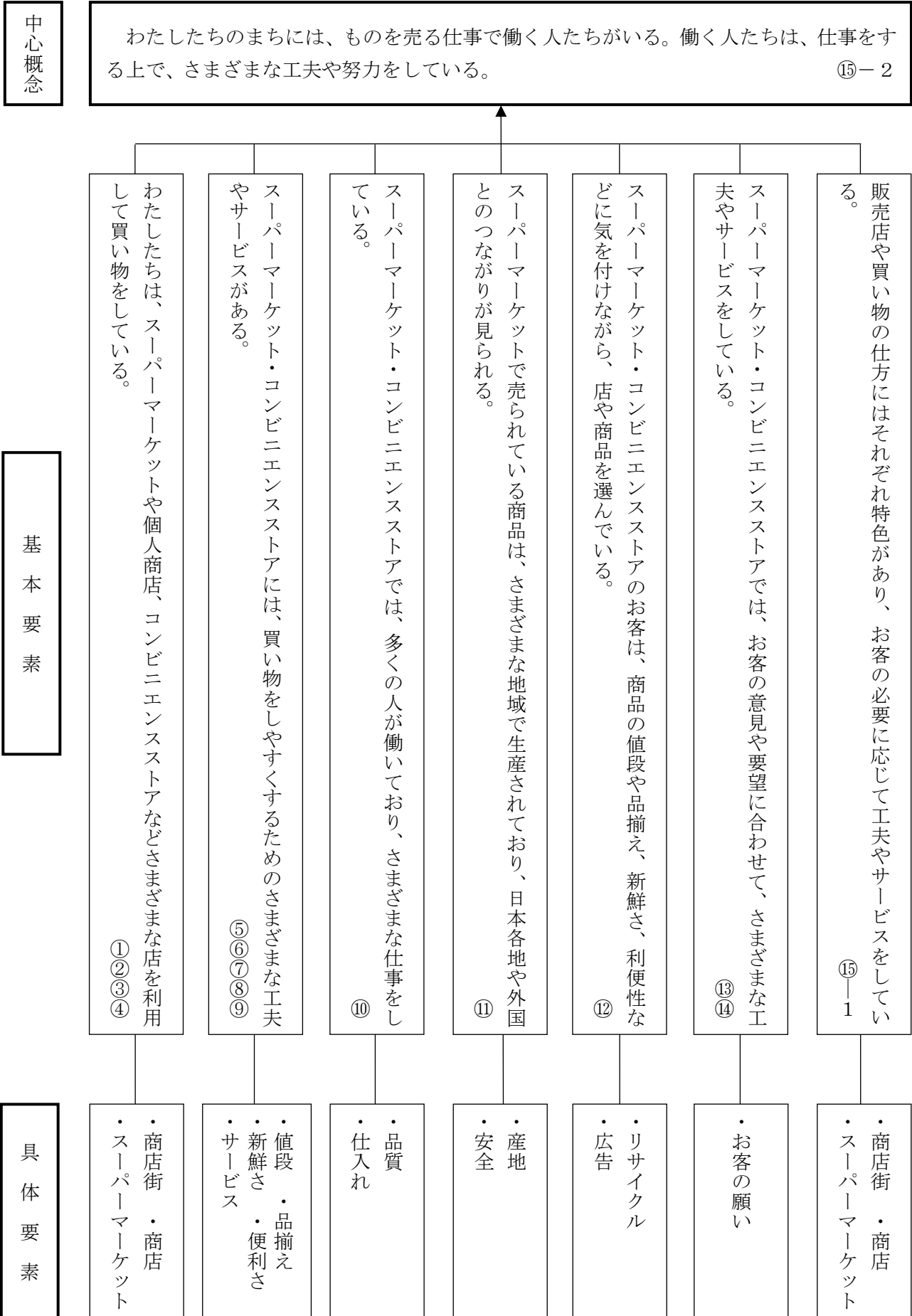
スーパーマーケットとコンビニエンスストアの工夫の違いへの関心を高め、理解を深めるために、2種類の販売店の内どちらかを見学するようにする。また、同じ販売店でも工夫に特徴があることに気付くために、それぞれの販売店の見学先を2つ設定する。それぞれが見学して発見した販売店の工夫を持ち寄り、スーパーマーケットとコンビニエンスストアでの工夫にそれぞれの特徴が表れていることに気付けるようにする。

#### (3) I C T 機器活用の工夫

i P a d をペアで1台使用し、“消費者の願いに対する店側の工夫”を写真で残す。i P a d をペアに1台用意することで、目的に合わせた写真を選択すること、i P a d の使用方法を確認しながら活動できること、児童の考えを写真として残すことができるようになる。

撮った写真をプレゼン資料として活用する。ロイロノートを使用し、写真にタイトルを付けて説明が行えるようにする。具体的な写真を見せながら説明をすることで、児童の思考の整理や話の結び付きなどが考えやすくなる。作成場面では、プレゼンの方法としてロイロノートや写真を有効に活用している児童を紹介し、プレゼン資料の充実とデータ活用のよさに気付けるようにしていく。データとして残すことで、その後のグループ学習でも意見の根拠として話し合い活動に活用できる。

## 7 研究構造図



## 8 小単元の指導計画（全17時間）

	時	○学習活動	◇支援、手立て【評価】
オリエンテーション	1	町には、どのような仕事をする人がいるか話し合おう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち探検での学習から、自分たちの地域にどのような仕事（店）があったのかを話し合う。</li> <li>○ まち探検の写真から、働く人がどのようなことを考えて働いているのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ まち探検での記憶を想起させるために、ペアで話し合う時間を設ける。</li> <li>◇ 考えを明確にするために、見学した場所の写真を提示する。</li> </ul> <p>【関心・意欲・態度①】発言</p>
第一次	2	家の人たちが、どのようなお店で買い物をしているのか調べる計画を立てよう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家の人買い物をしている様子を思い出し、話し合う。</li> <li>○ どんな買い物をしたのかを調べる方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 全体で話し合い、同じ販売店に行った人数を挙手させ把握する。</li> <li>◇ 買い物調べカードを活用し、一週間の買い物の様子を調べる。</li> </ul> <p>【関心・意欲・態度①】発言</p>
第一次	3・4	買い物調べの結果を発表し合い、学習問題を考えよう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループごとに、白地図・表に買い物をした場所や回数を示し、気付いたことを話し合う。</li> <li>○ 買い物した場所と気付いたことを共有し、学習問題を考える。</li> </ul> <p>なぜ、スーパーマーケットとコンビニエンスストアに行く人が多いのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域の白地図・回数を表せる表を用意し、シールで販売店の場所・行った回数を示せるようにする。</li> <li>◇ 拡大した地域の白地図を用意し、学級の買い物調べをまとめる。</li> </ul> <p>【技能②】観察・学習資料 【思考・判断・表現①】発言・ノート</p>
第二次	5・6	消費者の願いと消費者の願いに対する販売店の工夫を考えよう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スーパーマーケットとコンビニエンスストアへの消費者の願いを考える。</li> <li>○ 消費者の願いに対応して、販売店がどのような工夫をしているのかを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 家の人買い物をしている時を想起して考えるよう助言する。</li> <li>◇ きっとカードを活用し、販売店の工夫をまとめる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現②】観察</p>
第二次	7	スーパーマーケット・コンビニエンスストアを見学する計画を立てよう。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ販売店を見学する児童でペアを組み、見て確かめるもの、聞いて確かめるものを販売店の工夫から選び、見学カードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 色別で見学カードを用意し、販売店の工夫を確かめるために、見る・聞くの2つの視点で考えさせる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現①】観察・学習カード</p>

第三次	8	<p>見学の計画を基に、スーパーマーケット・コンビニエンスストアを見学しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見学の計画を基にして、スーパーマーケット・コンビニエンスストアを見学する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ iPadを使い、見て確かめられるものは写真を撮るよう事前に指導する。</li> </ul> <p>【技能①】観察</p>
	9・10・11 (本時)	<p>見学して確かめた工夫を、写真を使ってまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ロイロノートの使い方を確認し、発表に使う写真を選択して題名を付ける。</li> <li>○ 予想とお店見学で確かめたことが合っているかどうかを考える。</li> <li>○ 話型に沿って、写真や発表に合った文を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 見やすさを考え、題名の大きさ、色を選択するように指導する。</li> <li>◇ 値段・品揃え・新鮮さ・便利さに分類して発表する順番を考えさせる。</li> <li>◇ 計画的・効果的に発表できているグループを紹介してお手本とする。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現②】観察・ICT</p>
	12	<p>スーパーマーケットとコンビニエンスストアの工夫を、写真を使って発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ iPadを用意し、順番にスーパーマーケット・コンビニエンスストアの工夫を発表する。</li> <li>○ 発表を聞いて、思ったことや考えたことなどを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 発表中はiPadに触らないように指導する。</li> <li>◇ 発表を聞く際に、工夫の相違点を探すように観点をしぼる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現②】発言・ICT</p>
	13	<p>商品がどこから販売店に届くのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 販売店の広告や消費者の願いから、商品をどこから仕入れているのかを調べる。</li> <li>○ 日本地図を見て、気付いたことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 都道府県名の入った日本地図を用意し、仕入れ先を示せるようにする。</li> <li>◇ 日本の様々な場所から仕入れていることをおさえる。</li> </ul> <p>【知識・理解②】観察・学習資料</p>
14	<p>消費者は、どのようなことに気を付けて買い物をしているのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者へのインタビューから、消費者はどんなことに気を付けて買い物をしているのかをグループで発表し合う。</li> <li>○ 買い物で気を付けることの優先順位を全体でまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ インタビューの観点を「買い物をするとき気を付けていること」に限定し、優先順位をつける。</li> <li>◇ どんなことに気を付けている家庭が多いのかを確認し、次時の学習につなげる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現②】発言・ノート</p>	

1 5 ・ 1 6	<p>消費者の願いに応えるために、販売店がしていることを考えよう。</p> <p>○ 販売店の工夫と消費者が買い物をしているときに気を付けていることを照らし合わせ、どんな関係があるか考える。</p> <p>○ 消費者が何を基準にして、買い物をする店を選んでいるのかを考え、発表する。</p>	<p>◇ 消費者の願いと販売店の工夫が対応していることに気付けるようにワークシートを用意する。</p> <p>【思考・判断・表現②】 発言・ノート</p>
1 7	<p>スーパーマーケット・コンビニエンスストアを基に、様々な販売店のよさに合わせた買い物の仕方を考えよう。</p> <p>○ 消費者の願いや買い物で気を付けていることを基に、それぞれの販売店のよさを考える。</p> <p>○ 消費者と販売店との関わりについてまとめる。</p>	<p>◇ 買い物調べで出た販売店を一覧で掲示し、そこに行った理由を考えるように指導する。</p> <p>◇ 学習を通して、消費者と販売店相互の関係性が分かるように、図で示す。</p> <p>【知識・理解①】 発言・ノート</p> <p>【関心・意欲・態度②】 発言・ノート</p>
<p>消費者は願いに合わせて店を選び、販売店は消費者の願いを叶えられるように店の特徴を生かした工夫をしている。</p>		

## 9 本時の指導（11時間目／全17時間）

### （1）目標

スーパーマーケット・コンビニエンスストア見学から、販売店の人が消費者のこと考えた売り方や工夫をしていることに気づき、どんな売り方や工夫があるのかを表現している。

### （2）本時の展開

	○学習活動 T：教師の発問 C：予想される児童の反応	◇指導・支援 ☆ICT機器活用のポイント 評価【評価基準】(方法)
導入 (3分)	○ 前時までの学習を振り返る。  ○ 本時のめあてを知る。	◇ お店見学・販売店の工夫のまとめの学習の流れを確認し、前時までの学習を想起させる。
	スーパーマーケットとコンビニエンスストアの工夫を発表する準備をしよう。	
展開 (37分)	○ 販売店の工夫を発表するために、ロイロノートで発表用のデータを作る。 T 前時までの学習で用意してきたことを基に、さらに聞き手が分かりやすくするためにどうすればよいか考えて作りましょう。  ○ 友達のよい資料を見て、自分の発表用のデータに生かす。 T ○○さん達のペアの発表を少し聞いてみましょう。とてもよくできているので真似できるものがないか考えましょう。 C 文字が大きくて見やすい。 C 順番が種類ごとに分かれていて分かりやすい。  ○ 発表用のデータを見直し、発表の練習をする。	☆ 見学してきたことを基に、販売店の工夫を発表するためのデータをロイロノートで作成する。 ◇ どんなことを確かめたのか、確かめた結果どうだったのかを分かりやすく発表できるようにするために、ワークシートを活用する。  ◇ 前時までに学習した「発表用のデータを作成するとき、どんな発表用のデータを作ると聞き手は分かりやすいかのポイント」を想起させる。 ◇ どんなことがよかったかを全体で共有する。  【評価基準】(方法) A 何が販売店の工夫かを正確に理解し、販売店の工夫を発表する資料を文字の色・大きさなどに気を付けて作ることができる。(発言・ICT) B 何が販売店の工夫かを正確に理解し、販売店の工夫を発表する資料を作ることができる。(発言・ICT)
まとめ (5分)	○ 本時の学習をまとめる。  ○ iPadを片付ける。	◇ 本時までで、発表用データの作成が終了となり、次時には実際に発表することを伝える。 ◇ 両手で持つこと、優しく画面を閉じることなど声かけをする。



※ 授業を見る視点

① 教科の観点

販売店の工夫を予想を基に考え、実際にどんな工夫がされているのかを写真で残し、発表するために適切な題名を付けることができていたか。

② ICT活用の観点

販売店の工夫を発表するために、i P a dで写真を撮り、発表用資料としてロイロノートを活用したことは、友達の記事を意欲をもって聞き、販売店の工夫を明確に捉えるために有効であったか。

(3) 板書計画

